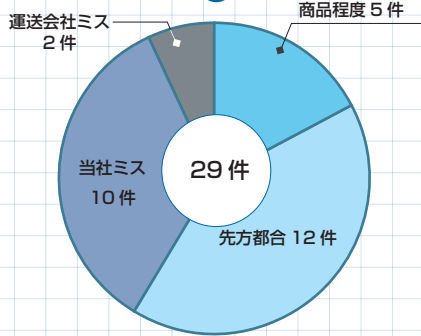


# リポートニュース

令和1年9月号 NO.208

先進安全自動車（ASV）の普及で事故は確実に減少傾向にあります。特に軽微な事故の減少はBS様の入庫に大きな影響を与えています。こうした状況下でリサイクルパーツの需要も同様に落ち込み、ネット市場では価格競争の様相が強くなっています。リノベートパーツの補修部門はこうした需要減をきちんと受け入れたうえで、スタッフ50名の協力を背景に高付加価値商品の開発に取り組み顧客ニーズに応えた商品作りを始めました。人手不足をビジネスチャンスと捕えポジティブに対策を講じる発想の転換を進めてゆきます。

## 8月のクレーム ① 集計報告



## 自社主力商品別クレーム（輸出版売はノークレームのため対象外です。）

商品別クレーム	件数	クレーム率	内 訳	
バンパー	1件	1/1,033	0.10%	格子の付け根にヒビ
フード	0件	0/166	0%	
フェンダー	2件	2/494	0.40%	変形、全体歪み、サフェ部ボコボコ 各1件
ドア・Rゲート	0件	0/159	0%	
ライト	1件	1/686	0.15%	裏ソケット部割れ 1件
<b>計</b>	<b>4件</b>	<b>4/2,538</b>	<b>0.15%</b>	

## 豆知識 トヨタ ヴェルファイア 30系 グレートZ系 後期(H30.1～) フォグカバーのインテリジェントクリアランスソナーの有無と裏面センサーリテーナーの形状違い（取付ステーの様なもの）

- ・インテリ無しの場合 裏リテーナー色 白 写真④
  - ・インテリ装着の場合 裏リテーナー色 黒 写真③
- H30.10～はインテリジェントクリアランスソナーは標準装備になりました。



フォグカバー 外観は同一 裏リテーナー白色④ 裏リテーナー黒色③

## 豆知識 トヨタ シエンタ 170系 テールランプ 前期、後期の見分け方

- |                |           |           |     |
|----------------|-----------|-----------|-----|
| 前期 H27.7～H30.9 | ハロゲンランプ車用 | レンズ面クリア   | 写真① |
|                | LEDランプ車用  | 上部に赤ライン   | 写真② |
| 後期 H30.9～      | ハロゲンランプ車用 | レンズ面クリア   | 写真③ |
|                | LEDランプ車用  | 上部にメッキライン | 写真④ |
|                |           | 全体的赤レンズ主体 | 写真④ |



前期ハロゲン車① 前期LEDランプ車② 後期ハロゲン車③ 後期LEDランプ車④

## 補修作業のグレードUP ①

塗装部門の第一弾としてトヨタ系スポイラーを完全塗装仕上げを作りました。ベルファイアー・エスティマ・アルファード車種限定でパールホワイト070塗装仕上げを用意、ネット販売で市場ニーズを探ることにしました。



20系ベルファイアー

## 補修作業のグレードUP ②

ライト部門では、トヨタプリウス50系、ヘッドライトハウジングのパールホワイト070塗装仕上げをしました。顧客ニーズを探り徐々にアイテムを増やしてゆきます。



## 新人紹介 钣金課 栗原社員（39才）

2級整備士としてディーラーに勤めていた時の同僚からの紹介で当社に入社しました。钣金技術の習得には4～5年が必要ですが当人のチャレンジ精神は旺盛で有望視される新人です。若いころの趣味は「バイクと雪上ラリー」に夢中でしたが、現在は「海釣り」にはまり南房総方面に月2回ペースで出かけています。趣味人特有の柔和な人間性が魅力的です。



## 図書室の開設

「会長の自宅に所蔵してあった書籍が寄贈された」というと大袈裟ですが、芥川賞や直木賞を受賞した人気作家の小説が多く、その数は300冊以上あり興味をそそる本が多数ありました。・食堂の移転で広がった会議室が本棚で再び手狭にならないことを願っています。



## 品質向上のための環境整備

裏手の進入口は、もともと田圃のあぜ道に車が通れるように幅を広げた程度のもので、雨が降るとぬかるみ、轍が深くなると車のシャシーが地面にくっついてしまうため、定期的に碎石を敷き詰め整地しなくてはなりません。環境整備は際限がありません。



## 技能実習と特定技能の違い

技能実習とは、外国人の方に日本の進んだ産業技術を身につけて、本国でそのスキルを活用して産業発展に役立てる「国際貢献」を主目的とした制度です。技能実習における労働は、スキル獲得の「手段」であって目的ではありません。いっぽう在留資格「特定技能」は、人材不足の産業に即戦力となる労働力を提供するための制度で労働を主たる「目的」として、外国人労働者は事前に試験に合格する必要がありますが、スキームは会社と労働者の2当事者であり、特定技能ビザで海外から直接労働力を招聘することがメジャーになるはずですが。